

### 共生社会教育課程 福祉社会教育コース 2年 Yさん

3週間という期間をこんなに短く感じたことはないというくらい、クアラルンプールで過ごしたこの3週間は、私の今までの人生の中で最も充実した日々となりました。この学校でさまざまな国の人々と友達になって、英語でコミュニケーションをとって行く中で、文化や宗教、考え方の違いを知ることができました。(中略)

どんな価値観も否定から始めるのではなく、共生という視点から、まずは相手のことを理解するために、少しでもイスラム教について理解しようと努めました。(中略)

日本に帰国するのが憂鬱になるほど、たくさんの離れ難い大切な友達ことができました。ともに過ごした期間はたったの3週間だけでしたが、一生忘れられない素敵な出逢いばかりでした。本当にこの研修に参加してよかったです。また、自分の伝えたいことをもっと的確に相手に伝えられるように、これからさらに英語を勉強していこうと思います。

### 中等理科 2年 Gさん

研修中は毎日英語を使っていたので、英語を話すことに抵抗やためらいはなくなった。だが、日本に帰って確実に英語を話す機会は少なくなったので、英語を忘れないために自分で英語を生活の中に取り入れようと努力している。例えば、マレーシアで作った友達とSNSを通じて英語で連絡を取りあったり、英語の映画をみたりしている。日本に来たいという友達が多いが、ほとんどの日本人が英語を話せないことや、日本の文化が違いすぎることに不安を持っている。だから、私とその友達に不安を感じさせないくらいもっともっと英語を勉強して日本を英語で案内できるようになると約束した。(中略)

3週間でも短すぎると思った。本当にあっという間だった。これからまた1人で他の国に行ってみようと思う。たくさんの人と会って話してたくさんの知識を得て、それを教師になった時生徒に話せたら面白いなおもった。そのためには、これから英語や日本の文化について今よりも勉強しなければならない。

### 初等英語 1年 Hさん

学校ではいろいろな国の人と交流し友達になり食事に一緒に行ったりしてとても内容の濃い日々を過ごすことができました。また先生方も優しくおもしろく授業に行くのが楽しみでした。(中略)

現在、自分は在学中に長期の留学をしたいと考えています。なので今回の研修で学べたコミュニケーション能力や海外での過ごし方、環境に適応することなどを活かしていきたいと思います。そして、留学するためには今よりもっと英語力を高める必要があるので必死に勉強して行こうと思います。

### 初等 生活・総合選修 2年 Yさん

この3週間で、私の人生はきっと変わってしまったと思います。初めての海外でした。

日本の外では、あらゆるものが、今まで日本で見てきたものとは違いました。毎日が驚きの連続で、全てが刺激的でした。海外に行ってみたいという小さな好奇心が、私の見てきた世界を大きく変えました。参加することができてよかったと、心の底から思っています。

3週間通ったのは素晴らしい学校です。この学校に通えたからこそ、こんなに充実した研修を送ることができたのだと思います。学校のルールは、「ENGLISH ONLY」です。授業は、朝から夕方まであります。クラスメイトは、日本人、ロシア人、カザフスタン人、中国人などです。でも、最も多かったのは、サウジアラビア、イエメン、トルコといった、中東の学生で、私のクラスでは、約半数が、アラビア語を話す、中東の学生でした。

授業初日に、私は、最初の衝撃を受けました。「英語が出てこない」。先生が言っていることも分からないし、それを隣の留学生に聞きたくても、言葉が出てこない。中学校から高校まで、あんなに複雑な文法を勉強してきたのに、「何をしているの?」「どうしたらいいの?」「わからない」その言葉さえ、話せませんでした。別世界にきて、ただ机に座って、カチカチに緊張して、宙に浮いているような気分でした。正直なところ、3週間やっていけるかどうか、不安でたまりませんでした。だけど、そんな心配は3日経つ頃には消えていました。中東の学生は、平気で遅刻をします。宿題もあまりしてきません。でも、日本人とは真逆で、英語をよく話します。文法は苦手だけど、どんなことでもすぐに先生に聞いて、解決しようとしています。授業は常に、先生と生徒のやり取りの中で、活発に進んでいきます。クラスはいつも賑やかで、「英語を勉強したい」という彼らの勢いの中にいると、英語を話すことを恐れる気持ちは、自然と消えていました。リスニングをしたり、テーマに沿ってグループでディスカッションをしたり、文法の練習問題を解いたり、日本と同じような授業のはずなのに、全てを英語で勉強すること、「学びたい」という気持ちを持っていること、これだけでこんなにも違う授業になるのだと、驚きました。授業が楽しいと思ったのは、いつぶりか分かりません。

そんな中でも、一番印象に残っている活動は、「お互いが母国語で話す」という活動です。中東の学生に、日本語で「タクシーはどこですか」と聞くと、アラビア語で説明が返ってきます。当たり前のことですが、まったく理解ができません。同じ地球に住んでいるのに、理解できないことだらけだということを、改めて感じました。そして、英語を使いこなすことができれば、彼らとしっかり分かり合えるだろうということを、身をもって感じました。こんな活動は、海外だからこそできることで、すごくいい経験になったと思います。

また、そこでできた友人たちは、私にとってかけがえのない宝物です。特に中東の生徒はとてもフレンドリーで、親切で、面白くて、一生懸命で、私はすぐに彼らを好きになりました。彼らは自分自身の考えを持ち、自分がどうしたいのかをしっかりと考えているとともに常に周りの人のことを考えています。尊敬しなければならないところだらけです。彼らに出会って、彼らの生活を見るごとに、イスラム教のことをもっと知りたいと思うようになりました。人に出会うことで、知りたいことが増えることを学びました。

たくさんの友人と出会い、多くの時間を一緒に過ごすことができました。家に招いても

らってパーティーをしたり、週末には一緒に観光に出かけたり、お寿司を食べたり、中東の料理を食べたり、彼らに出会って素晴らしい時間を過ごせたことが、この研修で一番嬉しかったことです。あんな風に集まって笑いあえることはきつともうないと考えると、すごく寂しくなります。ただ、こんなにも忘れたくないと思う感情を抱くことができたことは、本当に幸せなことです。英語をしっかり使いこなせるようになって、いつかまたどこかで会って、その時はもっとたくさん感謝の気持ちを直接伝えたいです。(中略)

3週間を振り返って、すべての場面において、もっと英語を話せたら、もっともっと彼らのことを知れたのに、という思いが、今もずっと強く残っています。伝えたいことが伝わらず、知りたいことがあってもうまく聞けず、悔しい思いをたくさんしました。学校の試験のためではなく、「この人のことをもっと知りたい」「自分のことをもっと知ってほしい」という、誰かとコミュニケーションをとるために、英語を勉強したいと、初めて思いました。この3週間は、間違いなく私の未来を変えてくれたと思います。